

職業実践専門課程の基本情報について

学 校 名	設置認可年月日	校 長 名	所 在 地			
専門学校トヨタ東京 自動車大学校	昭和51年6月1日	松浪 良樹	〒193-0944 東京都八王子市館町2193番地 (電話) 042-663-3211			
設 置 者 名	設立認可年月日	代 表 者 名	所 在 地			
学校法人トヨタ東京 整備学園	昭和63年10月20日	前川眞基	〒193-0944 東京都八王子市館町2193番地 (電話) 042-663-3211			
目 的	サービススタッフとして、高難度故障修理ができる知識・技能に加え、将来自動車業界のリーダーとなりうる知識・教養を身に付け、より職業に実践的かつ専門的な職業教育を行うことを目的とする					
分野	課 程 名	学 科 名	修業年限 (昼、夜別)	全課程の修了に 必要な総授業時 数又は総単位数	専門士の付与	高度専門士の付与
工業	工業専門課程	1級自動車科	4年(昼間)	4400単位時間 (又は単位)	—	平成18年文部科学 省告示第88号
教育課程	講義	演習	実験	実習	実技	
	1148.4単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	3427.2単位時間 (又は単位)	単位時間 (又は単位)	
生徒総定員	生徒実員	専任教員数	兼任教員数	総教員数		
480人	350人	52人	6人	58人		
学期制度	■1学期：4月1日～7月31日 ■2学期：8月1日～12月31日 ■3学期：1月1日～3月31日			成績評価	■成績表 (有) 無) ■成績評価の基準・方法について 各科目について試験を実施 合格点は70点以上	
長期休み	■夏 季：7月21日～8月31日 ■冬 季：12月25日～1月7日 ■春 季：3月25日～4月5日			卒業・進級条件	授業科目は全科目を必修とし、欠 席、遅刻、早退した場合は、原則 当該時間数の補講を実施。 全ての試験に合格し、必要な課程 を修了した者を進級・卒業認定。	
生徒指導	■クラス担任制 (有) 無) ■長期欠席者への指導等の対応 担任、課長による面談。 保護者と連絡を密に取り連携。			課外活動	■課外活動の種類 地域の清掃活動への参加 クラスごとに地域清掃の実施 めじろ台まつり神輿担ぎ モータースポーツイベントへの積極 参加 ■サークル活動 (有) 無)	

就職等の状況	■主な就職先、業界等 トヨタ自動車、 日野自動車、 トヨタ販売店各社、 ダイハツ販売店各社、 TTDC、アドヴィックス 等 ■就職率^{※1} 100 % ■卒業者に占める就職者の割合^{※2} 100% ■その他（任意） 就職者の100%が自動車関連会社に就職 （平成27年度卒業者に関する平成28年3月時点の情報）	主な資格・検定	2級ガソリン自動車整備士 2級ジーゼル自動車整備士 トヨタサービス技術検定3級 低圧電気取り扱い業務特別教育 中古自動車査定士 フォークリフト運転技能講習 ガス溶接技能修了 有機溶剤作業主任者 アーク溶接技能講習 1級小型自動車整備士 トヨタサービス技術検定2級 トヨタサービス技術検定エスティメーション2級 トヨタ業務認定D級 ビジネス検定ジョブパス2級
中途退学の現状	■中途退学者 4 名 ■中退率 1.1 % 平成27年4月 1日在学者 350名（平成27年4月入学者を含む） 平成28年3月31日在学者 346名（平成28年3月卒業生を含む） ■中途退学の主な理由 経済的理由、進路変更 ■中退防止のための取組 担任による面談や家庭への連絡、相談室の設置、教員の心理学研修		
ホームページ	URL:		

※1 「大学・短期大学・高等専門学校及び専修学校卒業予定者の就職（内定）状況調査」の定義による。

- ① 「就職率」については、就職希望者に占める就職者の割合をいい、調査時点における就職者数を就職希望者で除いたものとする。
- ② 「就職率」における「就職者」とは、正規の職員（1年以上の非正規の職員として就職した者を含む）として最終的に就職した者（企業等から採用通知などが出された者）をいう。
- ③ 「就職率」における「就職希望者」とは、卒業年度中に就職活動を行い、大学等卒業後速やかに就職することを希望する者をいい、卒業後の進路として「進学」「自営業」「家事手伝い」「留年」「資格取得」などを希望する者は含まない。

※ 「就職（内定）状況調査」における調査対象の抽出のための母集団となる学生等は、卒業年次に在籍している学生等としている。ただし、卒業の見込みのない者、休学中の者、留学生、聴講生、科目等履修生、研究生及び夜間部、医学科、歯学科、獣医学科、大学院、専攻科、別科の学生は除いている。

※2 「学校基本調査」の定義による。

全卒業生数のうち就職者総数の占める割合をいう。

「就職」とは給料、賃金、報酬その他経常的な収入を得る仕事に就くことをいう。自家・自営業に就いた者は含めるが、家事手伝い、臨時的な仕事に就いた者は就職者とはしない（就職したが就職先が不明の者は就職者として扱う。）

1. 教育課程の編成

(教育課程の編成における企業等との連携に関する基本方針)

国土交通省の定める一種養成施設の教育内容・教育時間に関する規定を遵守すると共に、自動車業界全体の動向をしっかりと見据え、職業に必要となる最新の知識・技術をカリキュラムに反映するため、企業・業界団体等と連携し、教育課程の編成を行い実践的かつ専門的な職業教育を実施する。

また、卒業生の就職先企業への訪問を実施すると共に隔年ごとに就職先企業へアンケートを実施し、職場からの意見等を教育課程への反映させるための検討を教育課程編成委員会で行う。

(教育課程編成委員会等の全委員の名簿)

平成28年9月22日現在

名 前	所 属
水野 晴彦	トヨタ自動車株式会社 国内サービス部 総括室 業務グループ長 担当課長
矢島 一豊	横浜トヨペット株式会社 取締役
橋本 工	トヨタ西東京カローラ株式会社サービス部サービスグループサブリーダー次長
在田 泰彦	トヨタアドミニスタ株式会社 サービス室 サービス教育Gリーダー
金子 俊明	東京都自動車振興会 教育部講習課 課長
松浪 良樹	専門学校トヨタ東京自動車大学校 校長
河本 博司	専門学校トヨタ東京自動車大学校 教育部 部長
藤川 龍彦	専門学校トヨタ東京自動車大学校 教育部 次長 教育支援課課長兼
渡辺 浩	専門学校トヨタ東京自動車大学校 教育部 次長 BC科課長兼
若林 良弘	専門学校トヨタ東京自動車大学校 教育部 次長 自動車整備1科課長兼
森 修一	専門学校トヨタ東京自動車大学校 教育部 スマートモビリティ科課長

(開催日時)

第1回 平成27年9月18日 13:30～16:15

第2回 平成28年3月24日 10:30～12:00

2. 主な実習・演習等

(実習・演習等における企業等との連携に関する基本方針)

卒業生の就職先は自動車業界全般であり、自動車技術の進歩は目覚しく、それに対応すべく企業と密接な連携を取り、実践の場で必要となる知識・技術を修得できる実習・演習プログラムを作成する。

科目名	科目概要	連携企業等
ジーゼルⅢ	新機構のコモンレールジーゼルエンジン(大型車)を教材として借用、実習での構造確認等	日野自動車
走行Ⅲ	大型車駆動系統実習のインターアクスルデファレンシャル研究において教材を借用し、実物での実習の実施	日野自動車
HV 機構Ⅰ	ハイブリッド車のブレーキフリード交換について、外部診断機あり・なしでの作業方法の修得	トヨタ西東京カローラ株式会社

3. 教員の研修等

(教員の研修等の基本方針)

教職員の人材育成プログラムに基づいた教育・研修の中で、次のような部分で企業との連携を行う。

自動車販売店等での整備作業の実務経験を活用しているが、実務経験の無い新入教員に対する販売店研修の実施。

技術の進歩に対応する教育を行うため、企業と連携し新機構等の研修の参加。

関係団体の主催する、指導力向上の研修に資格制度と連携し参加。

4. 学校関係者評価

(学校関係者評価委員会の全委員の名簿)

平成28年9月22日現在

名 前	所 属
村上 尚史	トヨタ自動車株式会社 国内サービス部 総括室 業務グループ 係長
菅野 剛	東京トヨタ自動車株式会社 サービス部 業務室 室長
森村 徹	ネッツトヨタ多摩株式会社 お客様関連室 保証ラボG グループリーダー
中島 慶太郎	東京トヨペット株式会社 カーテラス深川店サービス工場長
篠原 智治	横浜トヨペット株式会社 人事部 人事室 個別人事Gグループマネージャー
愛甲 彰人	館町 町会長
篠原 智治	トヨタ西東京カローラ株式会社50周年企画推進グループリーダー

(学校関係者評価結果の公表方法)

URL: <https://www.toyota-jaec.ac.jp/>

5. 情報提供

(情報提供の方法)

URL: <https://www.toyota-jaec.ac.jp/>

授業科目等の概要

(工業専門課程1級自動車科) 平成27年度										
分類			授業科目名	授業科目概要	配当年次・学期	授業時数	単位数	授業方法		
必修	選択必修	自由選択						講義	演習	実験・実習・実技
○			基礎	工具の名称及び取扱い方法、自動車各装置の概要を知る。	1 ①	16.2		△		○
○			エンジンⅠ	エンジンの仕組みを理解し、各部名称を覚える。	1 ①	77.4		△		○
○			燃料・手仕上げ	安全作業・正しい姿勢を修得する。 正確な測定技術を習得する。	1 ①	72.0		△		○
○			走行Ⅰ	サスペンションの各構成部品の役目を理解する。 ステアリングの基本構造を理解する。	1 ①	77.4		△		○
○			制動Ⅰ	油圧式ブレーキの構造を理解する。 ブレーキシュー交換作業を体得する。	1 ①	77.4		△		○
○			エンジン電装	始動、点火、充電装置の基本作動を習得する。 スイッチを含めた基本回路での電位、電位差の理解。	1 ②	95.4		△		○
○			エンジン調整	ガソリンエンジンの排出ガスの特徴とその浄化装置の目的、作動を理解する。	1 ②	95.4		△		○
○			駆動Ⅰ	クラッチの断続のしくみを理解する。 ギヤのかみ合いによる減速を理解する。 デフの作動の原理を理解する。	1 ②	95.4		△		○
○			制動Ⅱ	制動倍力装置の作動を理解する。 灯火装置の作動を理解する。	1 ②	95.4		△		○

○		エンジンⅡ	電子制御式燃料噴射装置の構成部品とその働きを理解する。 オルタネータの発電と整流の仕組みを理解する。 充電装置の車上点検を習得する。	1 ③	46.8		△		○
○		ジーゼルⅠ	ガソリンエンジンとの相違点、各燃焼室の特徴を理解する。 エキゾーストブレーキの作動、慣性過給装置の原理を理解する。	1 ③	46.8		△		○
○		走行Ⅱ	ホイールアライメント各要素の働きを理解する。 CCKGの正しい取扱い方法を身に付ける。	1 ③	46.8		△		○
○		定期点検Ⅰ	個人作業による1年定期点検作業要領の体得。 ハイブリッド車の概要。	1 ③	46.8		△		○
○		エンジン整備Ⅰ	燃料噴射量制御の考え方を理解する。 オシロ画面による波形観測法を習得する。	2 ①	81.0		△		○
○		ジーゼルⅡ	列型インジェクションポンプの燃料圧送作用（有効ストローク等）、噴射量の増減方法について理解する。	2 ①	81.0		△		○
○		駆動Ⅱ	トルコンのトルクアップの仕組みを理解する。 プラネタリギヤの基本原理を理解する。 A/Tの動力伝達を理解する。	2 ①	81.0		△		○
○		定期点検Ⅱ	定期点検作業における良否判定が的確にできるようにする。 車検ラインを使用した完成検査要領を体得する。	2 ①	81.0		△		○
○		エンジン整備Ⅱ	トラブルシュートの基本的な考え方と手順を理解する。	2 ②	95.4		△		○
○		ジーゼルⅢ	機械式、電子制御式ともに噴射量調整機構（ガバナ）と噴射時期調整機構（タイマ）の作動を理解する。	2 ②	95.4		△		○
○		走行Ⅲ	パワステのコントロールバルブの作動を理解する。 エアサスペンションの構造・作動を理解する。 コンピュータを利用したサービス業務を理解する。	2 ②	95.4		△		○
○		シャシ整備Ⅰ	エアブレーキ、複合式ブレーキの概要・構造・作動を理解する。 ABS、TRCの機能を理解する。 ハイブリッド車の理解を深める。	2 ②	95.4		△		○

○		自動車総合 Ⅰ	トヨタ技術検定 3 級レベルの技術と知識を修得する。	2 ②	45.0				○
○		自動車総合 Ⅱ	国家試験 2 級レベルの知識を修得する。	2 ③	37.8			○	
○		自動車総合 Ⅲ	国家試験 2 級レベルの知識をまとめる。	2 ③	133.2			○	
○		検査	自動車の検査および道路運送車両法について修得する。	2 ③	21.6			○	
○		法令	道路運送車両法および保安基準について修得する。	2 ③	30.6			○	
○		故障探究	自動車各装置の故障探究法方法について修得する。	2 ③	64.8			○	
○		自動車工学	自動車工学で計算を伴う分野を修得する。	1 通 2 通	147.6			○	△
○		一般教養・ 総合	自動車業界、人間性向上、就職活動、即戦力としての人材などについて修得する。	1 通 2 通	68.4			○	△
	○	選択授業	必修で科目を選択し行う。 (有機溶剤、ガス溶接、アーク溶接等)	1 ② 2 ①	64.8			△	○
○		電子回路・ テスタ	電子の基礎、外部診断機、テスタの取り扱いを理解する	3 ①	34.2			○	△
○		安全管理	作業場における安全・衛生について理解する。	3 ①	18.0			○	
○		エンジン工 学Ⅰ	TCCSの作動研究及び故障診断方法を習得する。	3 ①	90.0			△	○

○		駆動システム工学	E C Tの作動研究及び故障診断方法を習得する。	3 ①	90.0		△		○
○		制動システム工学	A B Sの作動研究及び故障診断方法を習得する。	3 ①	90.0		△		○
○		自動車産業研究 I	自動車産業、トヨタ生産方式、販売店について学ぶ。	3 ①	27.0		○		
○		機械工学概論	材料力学・流体力学・熱力学・金属材料を習得する。	3 ①	27.0		○		
	○	ビジ 叔検定 ジョブパス級	ビジ 叔検定 2 級レベルの知識を習得し、資格取得を目指す。	3 ①	32.4		○		
○		工場管理論	サービス工場における各自の役割、仕事の流れを学ぶ。	3 ① ②	81.0		○		
○		エンジン工学Ⅱ	T C C Sの作動研究及び故障診断方法を習得する。	3 ②	90.0		△		○
○		HV 機構 I	ハイブリッドシステムの構造・作用を研究する。	3 ②	43.2		○		△
○		操舵システム工学	E P Sの作動研究及び故障診断方法を習得する。	3 ②	66.6		△		○
○		空調システム工学	オートA/Cの作動研究及び故障診断方法を習得する。	3 ②	66.6		△		○
○		振動・騒音工学	振動騒音の発生メカニズムと故障診断方法を習得する。	3 ②	108.0		△		○
○		総合診断	受付・問診・作業説明・引渡などの接客応対を習得する。	3 ②	57.6		○		○
○		環境保全	環境の保全や改善、環境教育の推進法を習得する。	3 ②	25.2		○		

○		社会学	社会人として必要な一般常識・話し方を身につける。	3 ②	18.0		○		
○		HV 機構Ⅱ	ハイブリッドシステムの故障診断方法を習得する。	3 ③	43.2				○
○		新機構Ⅰ	コモン、D4、CNG の構造・作用を研究する。	3 ③	43.2		○		△
○		新機構Ⅱ	エアバッグ、搭載新技術の構造・作用を研究する。	3 ③	43.2		○		△
○		車上整備Ⅰ	定期点検、車検等の作業練習と現場の作業体験を行う。	3 ③	158.4		△		○
○		故障診断	実車を使用して、主に機械的故障の診断法を習得する。	4 ①	108.0				○
○		車上整備Ⅱ	実務研修Ⅱに向けて実践的作業練習を行う。	4 ①	108.0				○
○		電装総合診断	各電装品や通信装置の診断法を修得する。	4 ①	108.0				○
○		経営・経済学概論	経営学、経済学、企業経営の基礎について学ぶ。	4 ①	36.0		○		
○		商法・簿記会計学	簿記会計の基礎、商法の基礎について学ぶ。	4 ①	36.0		○		
○		自動車運動工学	自動車の走行性能・旋回性能・制動性能を研究する。	4 ①	18.0		○		
○		教育指導概論	教え方の原則、レクシンプラン作成、模擬授業を行う。	4 ①	23.4		○		
○		応用整備Ⅰ	トヨタサービス技術教育第3ステップの内容に基づいた知識・技術を習得し、トヨタ検定2級を取得する。	4 ②	64.8				○

○		応用整備Ⅱ	トヨタサービス技術教育第3ステップの内容に基づいた知識・技術を習得し、トヨタ検定2級を取得する。	4 ②	64.8				○
○		応用整備Ⅲ	トヨタサービス技術教育第3ステップの内容に基づいた知識・技術を習得し、トヨタ検定2級を取得する。	4 ②	64.8				○
○		実務研修	販売店の作業や接客を体験し、実践的な能力を高める。	4 ②	201.6				○
○		自動車産業研究Ⅱ	自動車産業の動向、製造業、販売業について学ぶ。	4 ②	27.0		○		
○		消費者心理学	市場調査、市場戦略、商品開発、広告等について学ぶ。	4 ②	18.0		○		
○		エステイメーション	事故車の修理における板金塗装料金見積り方法を学ぶ。	4 ②	36.0		○		
○		総合整備	3・4年次に習得した知識・技術の総まとめを行う。	4 ③	156.6				○
○		接客コミュニケーション実務	受付・問診・作業説明等の実践的な接客技法を習得する。	4 ③	43.2				○
合計				67 科目	4575.6 単位時間 (単位)				